

インカレロングのセレクション・代替大会におけるコロナ感染者の対応について

1. セレクション実施基準

地元からセレクションの延期要請があった場合を除き、活動可能な加盟校のみで基本的に開催する。

延期要請・活動可能な加盟校が無くセレクションが実施できない場合は、代替大会を実施する。

セレクション・代替大会で活動停止の加盟校がある場合は、2 に後述する基準に従い、枠を配分し、与えられた人数ぶんだけ諮問委員がその活動停止の加盟校から選出する。加盟校に属する選手が個人の理由により出場できなかった時は、3 に後述する方法で選考する。

2. 活動停止の加盟校があるときの選考基準

前年度の同じ対策をする。

枠の配分は以下のように計算し、その分の枠を与える。また、これに加え、本来の東海学連全体から選出する基準もある。

活動停止の加盟校がある場合は分け与えられるはずだった枠数を与える。その場合、セレクション・代替大会における枠数は[もともとセレクション・代替大会に割り振っていた枠数-活動停止加盟校に分け与えた枠数]とする。

- i. 男子ロングについて、東海学連に与えられた出場枠を以下の計算式によって各クラブに配分する。

その枠数分の選手を諮問委員が選出し、通過者とする。

①2022 年度のインカレロング種目における、当選考会への参加資格を持つ選手の実績を参照し、

(当該クラブに配分される枠数) = {(東海学連に与えられた枠数) - 1} × (ME 出場、MUL10 以内、MF3 位以内のいずれかを満たす選手数(セレクション免除者を除く)) ÷ (東海学連全体で上記の条件を満たす選手の数) とする。

(東海学連に与えられた枠数-1)に配布数が達しなかった場合小数点以下が大きい順に枠を割り振る

- ii. 女子ロングについて、東海学連に与えられた出場枠を以下の計算式によって各クラブに配分する。

その枠数分の選手を諮問委員が選出し、通過者とする。

①2022 年度のインカレロング種目における、当選考会への参加資格を持つ選

手

の実績を参照し、

(当該クラブに配分される枠数) = {(東海学連に与えられた枠数) - 1} × (WE
出場、WUL10 以内、WF3 位以内のいずれかを満たす選手数(セレクション免
除者を除く)) ÷ (東海学連全体で上記の条件を満たす選手の数) とする。
(東海学連に与えられた枠数-1)に配布数が達しなかった場合小数点以下が大きい
順に枠を割り振る

iii. 免除すべき規約について

今回は特例として東海学生オリエンテーリング連盟 インカレロング選手権競
技者選抜の規則の第 3 条を免除する

3 条

(1) 地区学連枠から推薦枠を差し引いた残りの出走枠についてはセレクション
レースを行い決定する。セレクションの日時・場所はセレクションの日の3ヶ月
以上前に幹事会が決定する。

(2) セレクションレースは他大会と併催できる。

(3) セレクションの申込を締め切った時点で、セレクション申込者数が選手権ク
ラスの出走者枠に満たない場合は、セレクションレースで競技時間内に完走し
た選手のセレクション通過を確定とする。

(4) セレクションはインカレロングの選手権競技者の選抜として適当なもので
あり、すべての参加者にとってできるだけ公平でなければならない。

(5) 前項の目的を達成するため、競技部長は使用トレイン(または使用する可能
性のあるトレイン)をセレクションの日の3ヶ月以上前からクローズしなければ
ならない。競技部長はクローズについて各加盟校に速やかに通知しなければ
ならない。

3. 加盟校に属する選手が個人のコロナウィルス感染によりに出場できなかった時の選考
基準

他の選手と同様に、諮問委員に立候補し推薦してもらおう形で選考する。

この推薦の枠に関しては通常の推薦の1枠とは別に設ける。

この推薦の枠数に上限は設けない。